

## 研究公開文書

|        |   |
|--------|---|
| 研 究 名  | 癒着防止剤インターシードの腹腔鏡手術創部に及ぼす影響に関する検討  |
| 研究の概要  | 癒着防止材は術後癒着に伴う腸閉塞などの予防のために、腹部手術において汎用されている。インターシードは酸化再生セルロースを編んだ布状シートであり、生地特性上、腹腔鏡手術の小切開創での貼付が簡便なため、他の癒着防止剤と比較して有用と考えられている。しかし、その効果や術後経過に及ぼす影響の報告は少ないので、本癒着防止剤使用した方の術後の癒着性腸閉塞などの手術後経過を検証し、有用性の評価を行う。 |
| 研究対象   | 当施設で腹腔鏡手術時に癒着防止材インターシードを貼付した方。  |
| 研究責任者  | 外科 清家和裕   |
| 研究実施期間 | 研究許可日～2024年12月31日   |
| 連絡先    | 外科 清家和裕<br>小田原市久野 4 6 番地 小田原市立病院 0465-34-3175   |